

新型コロナウイルス感染症 第2波への対応  
～市民・事業者の皆さまへのお願い～

岐阜県内では、7月以降、新型コロナウイルスの新たな感染者が170人を超え、その大半が7月中旬以降の発生となっています。感染が急速に拡大しており、今後、さらに広がる可能性があります。

この状況を受け、岐阜県は、新型コロナウイルス感染症の第2波が到来したと判断し、7月31日に「第2波非常事態」を発表しました。

高山市長として、市民の皆さま、事業者の皆さまに改めてお願いをいたします。

現在、幸いにして、高山市内ではこれまで感染者の発生はありませんが、コロナの感染拡大が勢いを増しており、市内でいつ発生してもおかしくない状況になっています。

市民の皆さまには、これまでも感染予防対策の徹底をお願いしてきているところではありますが、現状を踏まえ、一層強い危機意識をもって、自己防衛を行ってください。具体的にはまず、「人との距離の確保」「マスクの着用」、「手洗いの徹底」、「消毒の徹底」、「3つの密の回避」などの新しい生活様式に取り組んでください。

また、県をまたぐ外出や感染拡大地域との往来は、可能な限り控えてください。

そして、事業者の皆さまには、感染防止ガイドラインの実践の徹底を行っていただくとともに、県の「防止対策実行中」ステッカーと「QRコード」の積極的な掲示を行っていただき、利用者の皆さまに安全安心な体制を整えていることをお知らせください。

利用者の皆さまはステッカーが貼ってあるかないかで安全度を判断していただくことになります。

市内においても全国的な社会経済活動の再開に伴い、地域外からの来訪者をこばむことは困難になっています。感染の防止はひとえに、個人の自己防衛と地域内の事業者の感染予防対策の徹底にかかっています。

地域内の安全・安心が確保されてこそ経済活動ができるとの認識を改めて皆さんと共有いたしたいと思います。

そして、この見えないウイルスとの戦いにおいては、細心の注意を払って生活していても、感染してしまう危険性は誰にでもあります。

もし、感染したらと思ったら、ご自身のため、また周りに感染を広げないためにも、速やかに帰国者・接触者相談センター（飛騨保健所）にご連絡をお願いします。また、市民の皆さまには、万が一、身近に感染者が発生したとしても、いわれのない差別や偏見などが向けられることが絶対にならないよう、冷静で良識ある言動をお願いします。

最後になりますが、感染拡大の第2波の到来という、厳しい局面を迎えていますが、この状況を乗り越えるためには、皆さま一人ひとりの自覚と実践、ご協力が必要です。

このような状況下で、私たちの社会生活を支えていただいている医療機関や介護事業者などの多くの皆さまに感謝申し上げるとともに、市民の皆さまには「ご自身のため」「ご家族のため」「大切な人のため」「社会のため」に自覚と責任ある行動を何卒お願いいたします。

令和2年8月1日

高山市長 國島 芳明